

HMネットでのeお薬手帳の 使用方法について



はじめに

- H M ネットに電子お薬手帳連携機能が追加されます。
- これまでも H M ネットでは調剤情報を蓄積することができていましたが、H M ネットのみで電子お薬手帳として扱うことはできませんでした。
- このたび、**調剤報酬上求められている仕組みが実現できるようになりました。**

はじめに

- 具体的にはH Mネットにスマホアプリ「日薬eお薬手帳（以下、「**eお薬手帳**」と呼びます）」をリンクさせることで、電子お薬手帳の機能を追加しています。



薬局側：H Mネットを通じてeお薬手帳に調剤情報書き込み・
他薬局の調剤情報を閲覧

患者側：H Mネットにリンクしたeお薬手帳で自己データの閲覧・追記

注意：スマートフォンアプリの使用が大前提です

はじめに（用語解説）

【eお薬手帳】

日本薬剤師会がリリースした電子お薬手帳アプリ。H Mネットと連携するようになった。

【ひろしま健康手帳】

H Mネットユーザーが使用できるアプリまたはW e bサイト（要ログイン）。個人のヘルスデータ（体重や血圧など）を記録することができるとともに、お薬情報など、健康に関わる様々なデータの蓄積が可能。

薬局で行うべきこと（大きく分けて2点）

1. 患者さんのHMネットとeお薬手帳の連携を行う。

患者さんのeお薬手帳連携機能利用開始時に必須の操作となります。

2. 薬局でeお薬手帳を活用する。

普段の薬局業務でのお薬手帳の使用を指します。

この2点の方法をご確認ください！

1. 患者さんのHMネットとeお薬手帳の連携を行う。

次の2パターンがあります。

より説明がしやすい方を各薬局で選んでください。

パターン1

ひろしま健康手帳を
使用しない連携方法

パターン2

ひろしま健康手帳を
使用する連携方法

すでに日薬eお薬手帳アプリを使用している患者さんは、パターン2での連携が必要となります。

★電子お薬手帳には「日薬eお薬手帳」以外のものも存在しますが、HMネット加入薬局においては「日薬eお薬手帳」への移行を推奨してください。

パターン1

ひろしま健康手帳を使用しない連携方法

- (① HMカードの発行 ※すでにHMカードを持っている方では不要です)
- ② 「eお薬手帳」 ボタンからeお薬手帳連携専用画面を開く



- ③ 患者さんのHMカード情報（QRコードもしくはHMコード）を読み込む



パターン 1

ひろしま健康手帳を使用しない連携方法

- ④ 患者さんのeお薬手帳アカウントが作成され、登録内容の帳票が発行されるので患者さんに渡す

**HMネット**
ひろしま医療情報ネットワーク

**健康ふり**
お薬手帳情報管理サービス

 お薬手帳情報管理サービスにご登録いただきありがとうございます。
日本薬剤師会が提供する「日薬eお薬手帳」アプリをインストールして
ご利用ください。

Androidをご利用の方

(Android 4.1以上対応)


(iOS 8.0以上対応)

iOSをご利用の方

(iOS 8.0以上対応)



◆お薬手帳情報管理サービス 利用登録内容

ユーザーID	E123451234
パスワード	LNYPQE7TBM4U
登録メールアドレス (※1)	hmn_kk_prov@list.hiroshima.med.or.jp
秘密の質問	地域医療ネットワーク連携
秘密の質問の答え (※2)	R3RTDF3Z

※1. 登録メールアドレスは、仮登録です。
ログイン後、ご自身のメールアドレスにご変更ください。
※2. HMカード顔面のコードです。間のスペースは省いて入力してください。

 ひろしま医療情報ネットワーク (HMネット) が提供する
「ひろしま健康手帳」アプリも一緒にご利用ください！
HMカード発行後すぐにご利用いただけます。

Androidをご利用の方

(Android 5.0以上対応)


(iOS 8.4以上対応)

iOSをご利用の方

(iOS 8.4以上対応)



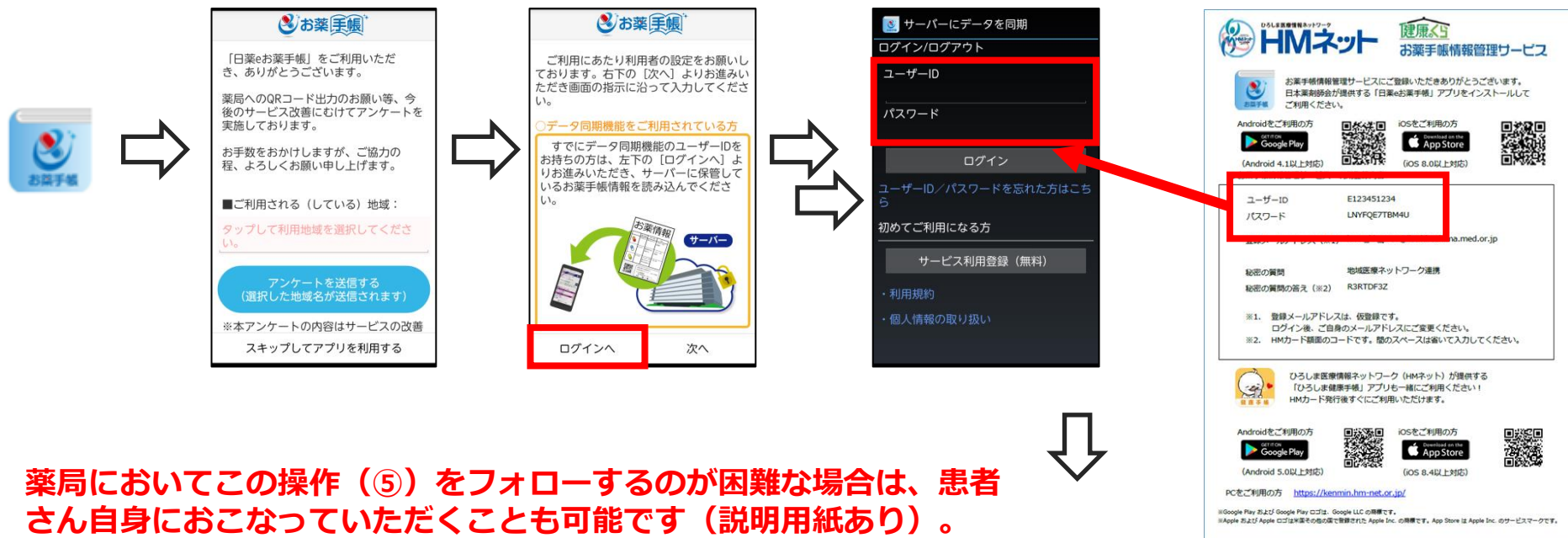
PCをご利用の方 <https://kenmin.hm-net.or.jp/>

※Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。
※Apple および Apple ロゴは米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。

パターン1

ひろしま健康手帳を使用しない連携方法

- ⑤ 患者さんにおいてeお薬手帳のアプリをダウンロードし、帳票に記載された「ユーザーID」と「パスワード」を入力後、ログインする



パターン1

ひろしま健康手帳を使用しない連携方法



サーバーにデータを同期
ログイン/ログアウト
ユーザーID
パスワード
ログイン
初めてご利用になる方
サービス利用登録 (無料)
・利用規約
・個人情報の取り扱い



秘密の質問/答え
データ引き継ぎのための秘密の質問を選択してください。
ペットの名前は？
嫌いな食べ物？
好きな食べ物？
応援しているチーム？
一番好きなアーティスト？
一番好きな映画？
母親の旧姓？
父親の旧姓？
地域医療ネットワーク連携
次へ



秘密の質問/答え
秘密の質問に対する答えを入力してください。
秘密の質問
地域医療ネットワーク連携
答え
8CQC DG3
OK

ひろしま健康情報ネットワーク
HMネット
健康くま
お薬手帳情報管理サービス
お薬手帳情報管理サービスにご登録いただきありがとうございます。
日本薬剤師会が提供する「日薬eお薬手帳」アプリをインストールしてご利用ください。
Androidをご利用の方
Google Play
(Android 4.1以上対応)
お薬手帳情報管理サービス 利用登録内容
iOSをご利用の方
App Store
(iOS 8.0以上対応)
ユーザーID E123451234
パスワード LNYFQE7BM4U
登録メールアドレス (※1) hmr_kk_prov@list.hiroshima.med.or.jp
秘密の質問の答え (※2) R3RTDF3Z
※1. 登録メールアドレスは、仮登録です。
ログイン後、ご自身のメールアドレスにご変更ください。
※2. HMカード顔面のコードです。顔のスペースは省いて入力してください。
ひろしま健康情報ネットワーク (HMネット) が提供する
「ひろしま健康手帳」アプリと一緒にご利用ください！
HMカード発行後すぐにご利用いただけます。
Androidをご利用の方
Google Play
(Android 5.0以上対応)
iOSをご利用の方
App Store
(iOS 8.4以上対応)
PCをご利用の方 <https://kenmin.hm-net.or.jp/>
※Google Play および Google Play コロは Google LLC の商標です。
※Apple、および Apple、ロゴは Apple Inc. の登録商標です。Apple Inc. のサービスマークです。

秘密の質問「地域医療ネットワーク連携」を選択する

帳票に記載された秘密の質問の答えを入力する



パターン1

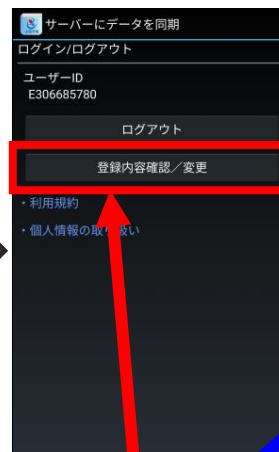
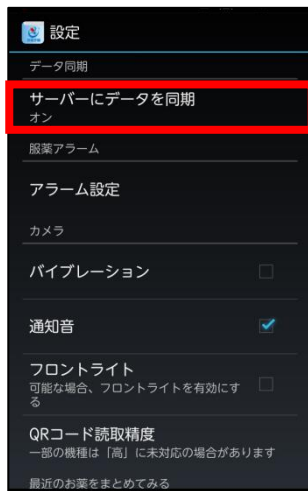
ひろしま健康手帳を使用しない連携方法



いったんデータを更新する



「サーバにデータを同期」
を選択し、ログイン画面に



メールアドレス、パスワード及び秘密の質問の答えが
帳票に記載されたままとなっているため、患者さん自
身により、変更してもらう必要がある。

薬局においてこの操作（⑤）をフォローするのが困難な場合は、患者さん自身におこなっていただくことも可能です（説明用紙あり）。

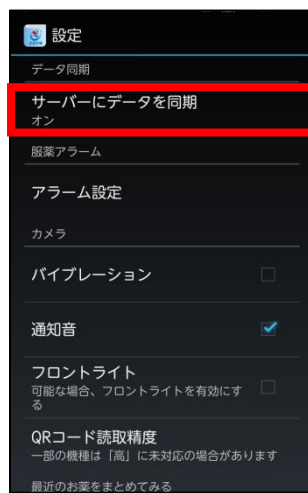
次回来局時までにはアプリの設定を行ってもらおうとよいでしょう。

パターン2

ひろしま健康手帳を使用する連携方法

(① H Mカードの発行 ※すでにH Mカードを持っている方では不要です)

②患者さんにおいてeお薬手帳アプリをダウンロードする。
(データ同期サービスの利用登録を開始しておく必要があります)



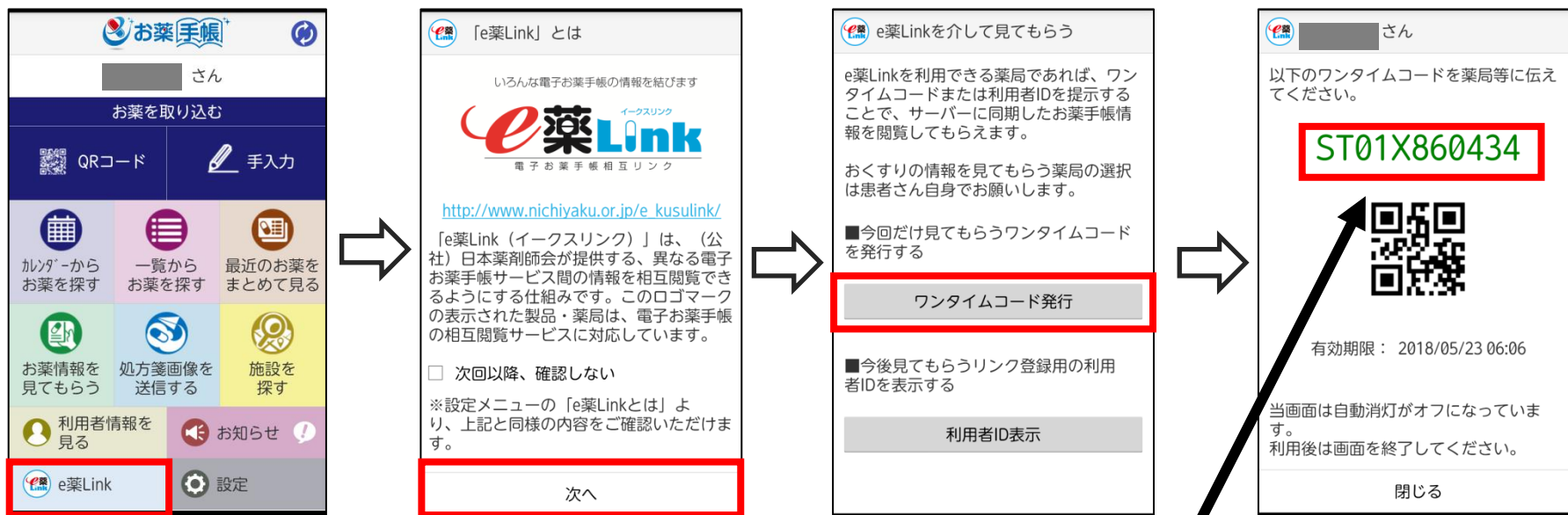
データ同期サービスの利用登録が開始できている場合、アプリの「設定」画面における「サーバーにデータを同期」が「オン」になっています。

③「ひろしま健康手帳」アプリをダウンロードするか、ひろしま健康手帳Webサイトからログインする。

パターン2

ひろしま健康手帳を使用する連携方法

④ 患者さんにおいてeお薬手帳からワンタイムコードを発行



コードをメモしておく

②において、事前にデータ同期サービスの利用登録を行う必要があります（詳細は日薬eお薬手帳の利用マニュアルをご参照ください）。

薬局においてこの操作（④及び⑤）をフォローするのが困難な場合は、患者さん自身におこなっていただくことも可能です（説明用紙あり）。

次回来局時までにはアプリの設定を行ってもらうとよいでしょう。

パターン2

ひろしま健康手帳を使用する連携方法

- ⑤患者さんにおいて「ひろしま健康手帳」のアプリもしくはWebサイトからeお薬手帳のリンク開始



<アプリの場合>

「メニュー」をタップし、アプリメニュー内の「93: eお薬手帳連携」をタップ

or



<Webサイトの場合>

メニューバーの「マイカード情報」にマウスカーソルを合わせて、「eお薬手帳 連携」メニューをクリック



パターン2

ひろしま健康手帳を使用する連携方法



メモしていたコードを入力

薬局においてこの操作（④及び⑤）をフォローするのが困難な場合は、患者さん自身におこなっていただくことも可能です（説明用紙あり）。

次回来局時までにはアプリの設定を行ってもらおうとよいでしょう。

2. 薬局でeお薬手帳を活用する。

eお薬手帳の役割は紙のお薬手帳同様、お薬情報の一元管理・閲覧です。

いくつかの方法があります。

ワンタイムコードを用いた閲覧

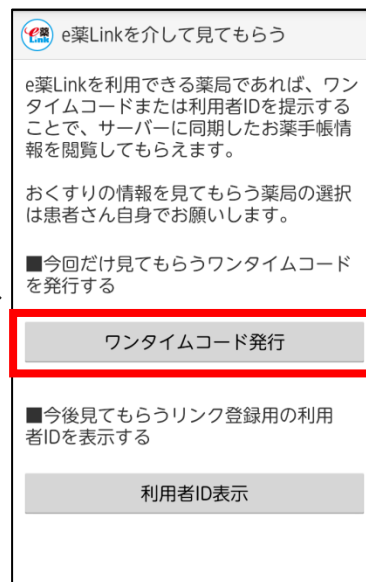
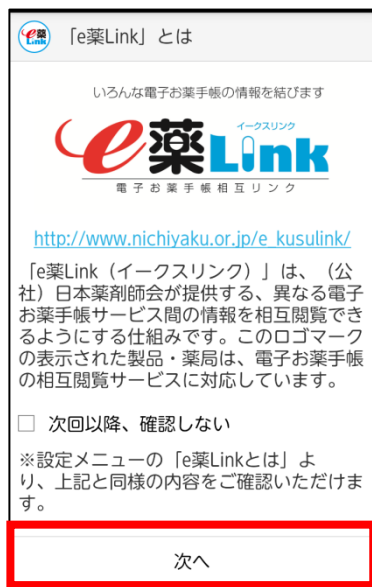
H Mカードを用いた閲覧

履歴を用いた閲覧（2回目以降の患者さんのみ）

日薬eお薬手帳以外の電子お薬手帳アプリの閲覧

ワンタイムコードを用いた閲覧

① 患者さんにおいて、eお薬手帳からワンタイムコードを発行



ワンタイムコードを用いた閲覧

②「eお薬手帳」ボタンからeお薬手帳連携専用画面を開く



③患者さんのワンタイムコード（QRコードもしくはコード文字列）を読み込む



Internet Explorer が起動し、お薬手帳画面が表示される

HMカードを用いた閲覧

①「eお薬手帳」ボタンからeお薬手帳連携専用画面を開く



②患者さんのHMカード情報（QRコードもしくはHMコード）を読み込む



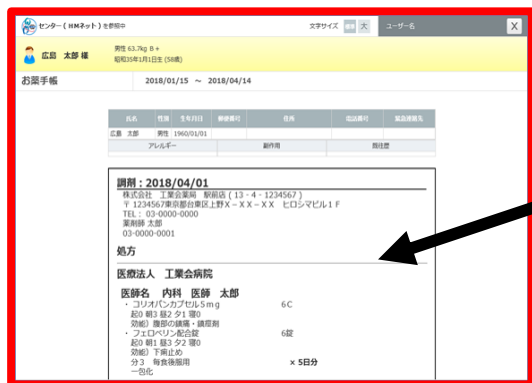
Internet Explorerが起動し、
お薬手帳画面が表示される

履歴を用いた閲覧（2回目以降の患者さんのみ）

①「eお薬手帳」ボタンからeお薬手帳連携専用画面を開く



これまでに閲覧した患者さんが一覧で表示される。



Internet Explorerが起動し、 お薬手帳画面が表示される

日薬eお薬手帳以外の電子お薬手帳アプリの閲覧

①患者さんにおいて電子お薬手帳アプリからワンタイムコードを発行



- ワンタイムコードの発行方法は電子お薬手帳アプリによって異なります。患者さん自身に確認してもらいましょう。
- 今後、医療情報連携ネットワークを活用していくことを考慮すると、「日薬eお薬手帳」への移行を推奨していくことが望ましいです。

※画面のレイアウトはアプリによって異なります。

日薬eお薬手帳以外の電子お薬手帳アプリの閲覧

②「eお薬手帳」ボタンからeお薬手帳連携専用画面を開く



③患者さんのワンタイムコード（QRコードもしくはコード文字列）を読み込む



Internet Explorerが起動し、
お薬手帳画面が表示される

注意点

H Mネットに**加入している薬局で調剤された薬剤**の情報については、H Mネット上に蓄積され、eお薬手帳にも反映されます。

一方、

医療機関で交付された薬剤（院内処方や注射薬等）の情報

H Mネット**非加入薬局での調剤**情報

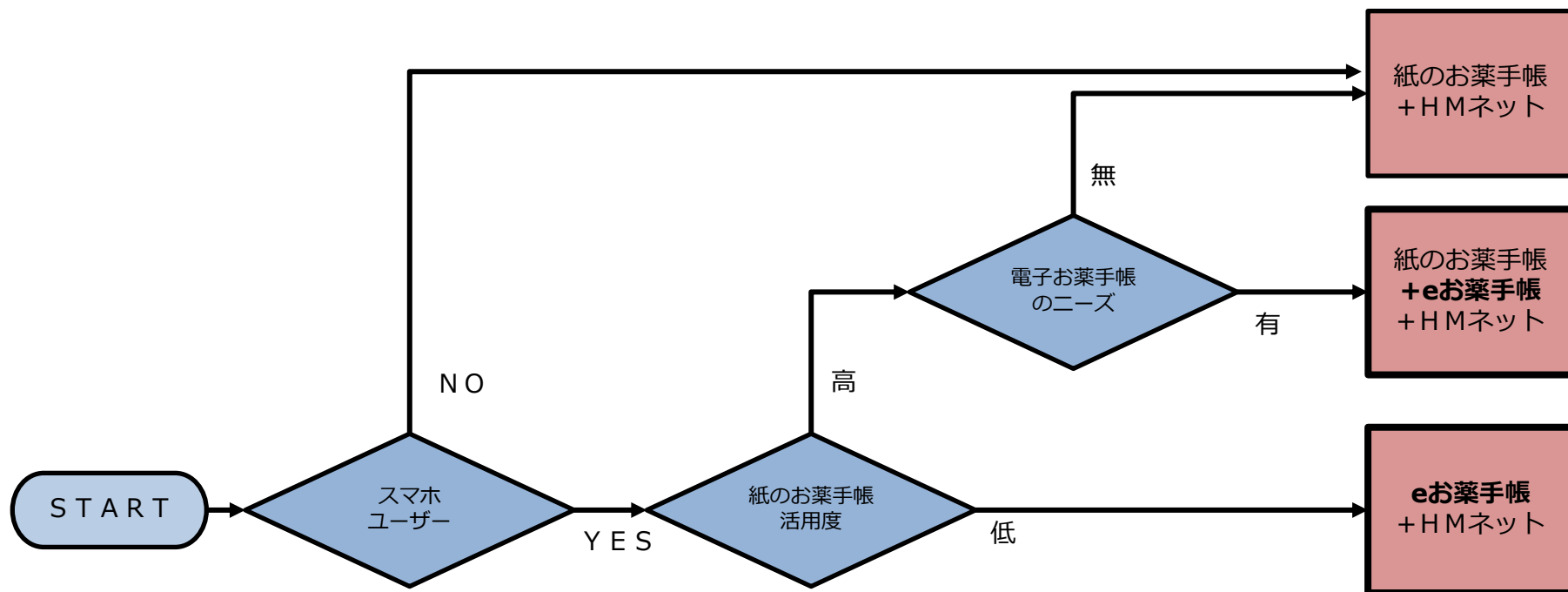
については、患者さん自らがeお薬手帳に取り込む（Q Rコード読み取りや直接入力）必要があります。

患者さんに上記をよく理解しておいてもらう必要があります。

どんな患者さんにeお薬手帳を推奨するか

どのような患者さんにeお薬手帳を推奨すべきか、考え方の参考としてください。

(必ずしも全ての患者さんがeお薬手帳を使用した方が良いとは限りませんが、HMネットへの加入は積極的に働きかけてください。)



eお薬手帳の可能性

eお薬手帳は、単に紙のお薬手帳の代わりになるだけでなく、次のような利点があります。

■ 1つのアプリで複数人のお薬情報が管理できる

アプリ中でユーザーの切り替えが容易にできるので、お子様がいらっしゃる患者さんが複数のお薬手帳（自身のものと子どものもの）を持ち歩く必要がなくなります。

また、H Mネットと連携したeお薬手帳だからこその利点もあります。

■ 従来の電子お薬手帳で必要だった「お薬情報の取り込み」を省略できる

H Mネット加入薬局での調剤情報はH Mネットを通じてeお薬手帳に蓄積されます。従来の電子お薬手帳に必要だったQ Rコードによる調剤情報の読み込みを省略できます。

■ 「ひろしま健康手帳」などのH Mネット中の複数の機能と組み合わせることで、トータルヘルスケア実現の可能性が広がる

H Mネットには様々な機能が搭載されています。健康な時から医療・介護サービスが必要になった時まで。まだ想像できない新たな活用の可能性がそこにはあります。

おわりに

- H M ネットとeお薬手帳の連携開始をきっかけとして、薬局や住民の方におけるH M ネットの普及がさらに進むことを期待しています。
- 薬局が、医療情報連携ネットワークの充実の鍵を握っています。
- 共に、H M ネットを活用した更なる医療の質向上を実現しましょう！